

明治ホールディングス株式会社

2026年4月22日

報道関係者各位

「明治グループ自然保全区 まほろばテラス」が 緑の認定制度「SEGES」の「そだてる緑」部門において Excellent Stage 2 に認定

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO:松田 克也）は、事業子会社の Meiji Seika ファルマ株式会社（代表取締役社長：永里 敏秋）が所有する足柄研究所の「明治グループ自然保全区 まほろばテラス（以下、まほろばテラス）」を中心とする緑地が、公益財団法人 都市緑化機構が運営する緑の認定制度「SEGES」*1（シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム）の「そだてる緑」部門において、「Excellent Stage 2」に認定されましたのでお知らせします。



「まほろばテラス」は、遊休となっていた土地を生物多様性に富む緑地空間へと再生し、地域の生物多様性保全に貢献することを目的に整備を進めてきました。こうした明確なビジョンに基づく継続的な取り組みなどが高く評価され、最上位から3番目のステージである「Excellent Stage 2」の認定に至りました。明治グループでは、2021年にグループ会社であるKMバイオロジクス株式会社が所有する「明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森®」が同認定を受けており*2、本件は2例目の認定となります。

「まほろばテラス」は今後、さらに絶滅危惧種や在来種の保護、特定外来生物の計画的な防除などを通じて地域生態系へ貢献するとともに、地域行政とも連携し自然環境学習や地域住民とのコミュニケーションの場を提供することでステップアップを図っていきます。

明治グループの事業は、生乳やカカオ、乳酸菌、抗生物質に代表される微生物など、豊かな自

然の恵みの上に成り立っています。私たちはこれからも継続して自然との共生を目指し、事業活動ならびに生産拠点や所有する企業緑地、その他協定地において生物多様性の保全活動に積極的に取り組んでいきます。

※1 企業が所有・管理する緑地の価値や取り組みが社会や環境に貢献しているかを客観的に評価・認定する制度

※2 2026年4月現在、Excellent Stage 3に認定

■「まほろばテラス」の概要

- ・立地：神奈川県小田原市栢山 788 Meiji Seika ファルマ株式会社 足柄研究所敷地内
- ・面積：2,600 m²
- ・概要：まほろばテラスは神奈川県小田原市北部、酒匂川の沖積低地に位置し、環境省が指定する「小田原市東栢山里地里山等保全地区」、かながわ探鳥地 50 選「栢山」に隣接する緑や水資源ともに豊かな地域にあります。敷地内の緑地ではヤマシギ、キジ、カワセミ、ツバメ、ハグロトンボなど多様な生き物が観察されています。



【参考情報】

- ・明治グループ 生物多様性に関する取り組み
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/biodiversity/>
- ・明治グループ 生物多様性保全活動ポリシー
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/harmony/biodiversity-biodiversity_conservation_activity_policy.pdf
- ・2025年12月17日プレスリリース「明治グループ自然保全区 まほろばテラス」が「自然共生サイト」に認定
https://www.meiji.com/pdf/news/2025/251217_01.pdf

以上

MOOOOOOORE SUSTAINABILITY は
人・社会・地球の健康の実現に向けた
明治グループのサステナビリティ活動
精神を表しています。

サステナビリティページはこちら↓
<https://www.meiji.com/sustainability/>

MOOOOOOORE
SUSTA/NAB/LITY